

基本項目 3 ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

(1) 関係人口と共に創る活力ある農村

- インバウンド需要の取り込みによる持続可能な農泊ビジネスの創出推進
- 地域とより深い関わりにつながる「新たな地域滞在型交流」の促進
- 企業や大学生などの多様な人材との関わり創出
- 都市農村交流活動の中心となる人材の育成



持続可能な農泊に向けた広域での現地交流（古民家視察）



伝統料理作りを通じた地域住民との交流活動（だいこんもち作り）

(3) 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり

- 環境負荷低減・省力化に資する栽培体系の確立・普及
- 鳥獣被害対策支援地区の設定、侵入防止柵の設置・管理やICT機器の導入による捕獲省力化などへの支援
- みどり認定農業者等への一元的な課題解決支援
- オーガニックビレッジなど有機農業の取組支援
- 農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための共同活動や環境負荷低減に関する取組を支援
- 農地や土地改良施設の利活用を基本とする地域住民活動の促進
- 有機センターの堆肥利用拡大と利便性向上への支援
- 未利用資源（下水汚泥等）の活用推進
- 農業水利施設等への再生可能エネルギー施設導入促進



環境負荷低減に向けた試験研究（パイオ炭施用）



鳥獣被害対策に向けたワークショップ

(2) 地域資源を活用した多様ななりわいの創出

- パイヤー主導によるニーズに対応した商品開発の支援
- 専門家派遣による商品開発や経営改善の伴走型支援
- 地域資源の活用に必要な食品加工機械の導入支援
- 農林漁業者と食品加工業者等とのマッチング



ニーズに対応した商品開発に向けた実需者による農場訪問



地域資源の活用に向けた加工設備の導入

(4) 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- 防災重点農業用ため池の防災工事の計画的実施
- 洪水や浸水被害のリスクを緩和する「田んぼダム」の普及拡大
- 農業用ため池への安全施設設置推進
- 宮城県ため池サポートセンターによるため池の管理体制強化
- 農業用水利ダム等の洪水調節機能発揮に向けた保全管理の推進
- 農業水利施設の効果的な長寿命化対策などの実施
- 農村地域の生産基盤や生活基盤の保全管理・整備



防災重点農業用ため池の堤体の補強工事



田んぼダム普及拡大のための小学校での出前授業

宮城県農政部の組織と地方機関

県庁各課

- 農政総務課
- 農業政策室
- 食産業振興課
- 農山漁村なりわい課
- 農業振興課

地方振興事務所等

- 大河原地方振興事務所
- 仙台地方振興事務所
- 北部地方振興事務所
- 東部地方振興事務所
- 気仙沼地方振興事務所
- 栗原地域事務所
- 登米地域事務所

- みやぎ米推進課
- 園芸推進課
- 畜産課
- 家畜防疫対策室
- 農村振興課
- 農村整備課
- 農村防災対策室

- 農業大学校
- 農業改良普及センター(9)
- 農業・園芸総合研究所
- 古川農業試験場
- 病害虫防除所
- 家畜保健衛生所(4)
- 畜産試験場
- 王城寺原補償工事事務所

※()の数字は事務所数



この冊子は3,500部印刷して1部当たりの単価は34円です

このパンフレットに関するお問い合わせ、ご意見・ご要望は

宮城県農政部 農業政策室 宮城県農政部 検索
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1
TEL 022-211-2963 Email noseise@pref.miyagi.lg.jp
※宮城県農政部のホームページにて、関係情報を発信しています。
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/37.html



令和7年度 宮城県 農業行政の概要

～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～



高度環境制御技術を導入した国内最大規模(5ha)のレタス生産ハウス



脂肪の質とサシの細やかさに優れた基幹種雄牛の造成（百合博）



高性能の収穫機によるさつまいも収穫の実演会



生育ムラを画像で確認



ICTを活用した効率的なほ場管理の推進

写真：農地整備が完了した伊豆沼2工区地区（登米市・栗原市）

宮城県農政部

このパンフレットは、令和7年度の宮城県農業行政の基本的な方向性や重点施策を紹介するものです。

令和7年度 宮城県農業行政の重点方針

世界の食料需給の変動や地球温暖化の進行など大きな情勢の変化に対応するため、令和6年度に「食料・農業・農村基本法」及び「みやぎ食と農の県民条例」が改正され、また、令和7年度は「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」の中間年度となる節目の年となります。食料システムを構成する農業者、食に関する事業者、消費者などによる共創力を強化し、本計画で掲げる将来像「豊かな食」、「儲ける農業」、「活力ある農村」の実現に向けて、以下の取組を重点的に推進していきます。

令和7年度の基本方向

- ▶ 時代のニーズに対応した取組による県産品の販路拡大と食品製造事業者の経営力強化
- ▶ 需要に応じたみやぎ米の生産、海外依存度の高い品目の生産拡大、園芸産出額倍増
- ▶ 多様な人材の確保・育成と地域計画の実現促進
- ▶ アグリテックによる生産性の向上と気候変動への適応や環境負荷低減の推進
- ▶ 地域資源の活用、野生鳥獣被害の防止、地域防災力の強化による農村の維持・活性化

基本項目1 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

(1) 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進

- 高校生地産地消お弁当コンテストの開催
- 食材王国みやぎ「伝え人」の小学校等への派遣
- 地産地消推進店等と連携した県産食材の消費拡大
- 都市農村交流活動の取組支援



高校生お弁当コンテスト

(2) 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化

- 首都圏等における主要都市での物産販売コーナー設置、ECへの誘導など商品に応じた県内外への多様な手法による販路開拓支援
- 食品製造業者と県内産地のマッチング
- 産地への実需者ニーズに対応した生産体制の整備支援
- 県産食材の認知度・付加価値の向上
- 食のマーケットの変化を捉えた商品開発力、商談実践力の強化支援
- 食品製造事業者の経営改善、経営者育成支援



店舗とオンライン販売が融合したOMO常設コーナー

(3) 県民への安全・安心な食料の安定供給

- 特定家畜伝染病の防疫体制の強化
- 農業者・教育機関へのGAP認証取得支援
- 農業者の事業継続計画（BCP）策定推進
- 農業保険制度への加入促進
- 県産農畜産物等の放射性物質検査の実施

特定家畜伝染病発生に備えた防疫演習（アフリカ豚熱）



基本項目2 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

(1) みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成

- 女性農業者の技術力向上支援
- 農業経営者への経営安定化、経営継承支援
- 新規就農者への技術力・経営力の向上支援
- 県内就農者の増加に向けた本県農業の魅力発信
- 企業等の参入、農福連携等の取組支援
- 外国人材等の就労環境整備の支援
- 畜産ヘルパー活用等の支援



女性農業者のための農業機械セミナー

(2) 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ICT、ロボット等の先進技術を活用したアグリテックの普及・拡大
- RTK基地局を利用した高精度作業の実践支援
- 時代のニーズに対応した新品種育成
- 高温に強い水稻品種育成など気候変動適応技術の開発
- 高収益作物の安定生産技術の開発
- 遺伝子解析技術等を活用した家畜改良



RTK基地局を活用した雑草防除作業の効率化

(3) 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- 地域計画の実現支援
- 農地の大区画化による集積・集約化と農地の汎用化推進
- 農地中間管理事業の活用促進
- 中山間地域等での簡易な基盤整備による耕作条件の改善と共同活動による農地の保全管理活動の継続支援

集積前



集積後



農地整備による担い手への農地集積



宮城県オリジナル品種「にこにこベリー」



地域農業の未来設計図「地域計画」実現に向けた支援

(4) 先進的大規模拠点を中心とした園芸産地の確立

- 施設園芸での高度環境制御等DX技術の導入支援
- いちごの需要拡大に対応した生産体制整備の支援
- 大規模施設園芸立地奨励金による企業の農業参入促進
- 大規模露地園芸での機械化一貫体系やアグリテックの導入支援と農地整備による条件整備
- 生産・流通体制整備の支援



高度環境制御による効率的な施設園芸（左：いちご、右：ミニトマト）

(5) 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興

- 需要に応じたみやぎ米の生産や実需者との事前契約の推進
- 園芸作物への転換・定着の推進
- 生産者と食品製造事業者等との連携による米・麦・大豆の生産拡大、商品開発等への支援
- 麦、大豆、飼料作物等でのアグリテックの導入支援と農地整備事業による条件整備



水田を活用した園芸作物の生産拡大（左：加工用ばれいしょ、右：加工用たまねぎ）

(6) 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

- 飼料の生産拡大・生産性向上への支援、気象災害に対応した牧草栽培技術確立
- 優良種雄牛の造成や「小ザシ」・「脂肪の質」の改良
- 第13回全国和牛能力共進会北海道大会出品候補牛の確保を推進
- 中心的経営体の施設整備や乳用牛群検定の普及定着化等への支援
- 中小規模の採卵養鶏・養豚経営体の労働生産性向上や食品産業との連携強化支援



飼料用トウモロコシの栽培実証



仙台牛のブランド力向上に向けた小ザシのデータ蓄積